2014年8月号「vol.50」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

8月13～16日には夜間公開も実施
レトロの香溢れる神奈川県庁本庁舎

横浜港の船が陸地に向かって進むと、超高層ビル群、そして正面屋上に特徴的な塔を持つ堂々たる風格の建物が姿を現します。1928年秋に横浜市中区日本大通に建てられた神奈川県庁庁舎です。県は1923年の関東大震災で焼失してしまった3代目庁舎に代わり「地震に負けない新しい県のシンボルを造ろう」と鉄骨鉄筋コンクリートによる地上5階、地下1階建て（高さ約23㍍）の頑丈な洋風建物の上に、4階建ての和風の塔（高さ約26㍍）を載せた庁舎を建設しました。デザイン、装飾とも昭和初期の流行の香りを宿したレトロな建物は、今でも県庁本庁舎として使われており、1996年には県内初の国登録有形文化財に指定されました。県では無料、事前申し込みなしで本庁舎を一般に開放しており、年間を通じて（12月29日～1月3日を除く）平日の8時半～17時15分に6階の本庁舎歴史展示室と屋上を自由見学にしています。さらに毎月、休日のうち2～3日は通常一般公開していない第3応接室（当初は貴賓室）や大会議室（同議会場）も公開し、ボランティアによる説明もあります。

これに加え昨年から8月に本庁舎の夜間公開も行われています。こちらも無料、申し込みなしで楽しめ、昨年は3日間で約8000人が来場しました。今年は13～15日が17時30分～21時、土曜日の16日は10時～21時で行われます。県産品やビール・おつまみの販売も行われます。庁舎前庭では県立高校の和太鼓、応援団リーダー、クラシックギターの部活なども日替わりで披露されます。

問い合わせは県庁財産経営部庁舎課庁内管理グループ TEL045（210）2620へ。

【本庁舎アラカルト】☆全国の都道府県庁の現役庁舎で最古は大正15年築の大阪府庁舎本館。神奈川はこれに次いで古い　☆建物全体は西欧古典様式で三層構成。タイル張り。装飾は宇治平等院のものに似た極楽に咲くという「宝相華」をモチーフにしたものが球形照明、手すりのグリルなどに施され、正面ロビーの梁の裏の錫杖彫、六葉の形をしたテラコッタ（屋上）なども見もの　☆建物のデザインは当時珍しかったコンペ方式で公募され、設計は当選した小尾（こび）嘉郎氏の作品と日本の耐震構造学の泰斗・佐野利器氏の案により作成した。大学卒初任給が50円の時代、1等賞金は5000円、庁舎建設総工費は275万円だった。

コレが言いたい！

平成25年度庁舎公開における来庁者数は58,064人でした。今年度は8月の夜間公開や一般開放以外にも神奈川県庁本庁舎に親しみを持って貰うため11月には大会議場で結婚式が行われます。本庁舎を開かれた県庁のシンボルとして、県を身近に感じる取り組みをこれからも行って頂きたいです。

今月のひと言

5月26日から7月13日まで県内の熱中症による救急搬送人員数は385人となっています。8月も日中、最高気温が高くなった日に熱中症の患者数が増加します。熱中症の予防には「水分・塩分の補給」と「暑さを避けること」が大切です！

磁子 あれ？これ？

横浜市指定有形文化財「旧柳下(やぎした)家住宅」

「旧柳下(やぎした)家住宅」は、明治初期から横浜弁天町で洋鉄・銅・丸釘の輸入業者として栄えた「柳下平次郎」の妻マスの居宅と言われ、大正中期から末期にかけて磯子区下町の現在地に建てられたものです。

関東大震災前の現存する建物は、西館・東館・洋館・蔵から成る極めて希少な洋館付き近代和風建築。保存状態が良く、改造も受けず建築水準が高い上、敷地もしっかり残されていることから建築的・歴史的価値の高いものと評価されています。平成8年に横浜市に寄贈されその後、横浜市は購入した土地の公園整備と共に、建物の保全改修工事を行いました。

そして平成14年11月1日に横浜市指定有形文化財の指定を受け、平成15年2月から「根岸なつかし公園旧柳下邸」として一般に開放されています。

JR根岸駅から徒歩約5分の小高い丘に建つ建物内は、大正末期～昭和初期の生活の雰囲気が味わえます。館内を自由に見学ができ、いくつかの部屋では事前に予約をすれば、各種会合・華道や茶道の稽古、発表会等文化活動にも利用できます。

また、年間を通じて様々な催し物が開催されております。みなさんも、一度お出かけになってみては。

館内：午前9時30分～午後4時30分　公園：午前9時～午後5時　休み：毎月第二、第四火曜日

活動報告

第二回定例会は7月8日閉会しました。

7月9～11日、18日各団体の要望をヒアリングする「団体ヒアリング」を開催

官邸訪問

水素を液体化し常温常圧で運ぶ技術を持つ川崎市内の千代田化工建設株式会社を視察。

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成23年4月　県議会議員初当選
- 厚生常任委員

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451